

尾瀬の入山規制解除 救助態勢整わず 安全確保自力で ／新潟

新潟

毎日新聞 2020/7/1 地方版 有料記事 544文字



登山者がいない尾瀬国立公園の尾瀬ヶ原＝6月上旬

福島、栃木、群馬、新潟の4県にまたがる尾瀬国立公園の入山制限が1日から解除される。福島、新潟からの登山ルートが新たに開くものの、営業する山小屋は半数程度にすぎない。携帯電話が通じないエリアも多く、遭難救助態勢が整っているとは言い難い。尾瀬保護財団は「自力で安全確保ができない人は入山を遠慮してほしい」と呼び掛けている。

日本最大の山岳湿地帯である尾瀬一帯は、ミズバショウやニッコウキスゲなどの高山植物がみられる。公園内は木道で整備されたイメージが強いが、急峻（きゅうしゅん）な山道や岩場もある。ハイカーがけがをして動けなくなり、防災ヘリで救助されたケースも少なくない。

群馬県片品村では5月21日、例年より規模を縮小して山開きの式典をした。群馬県側のルートは既に開通しているが、入山者は昨年に比べ大幅に減っているという。

尾瀬保護財団によると、20あるすべての山小屋は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自治体の休業要請に応じ、6月末まで営業を自粛。ビジターセンターや公衆トイレなども多くが閉鎖中だ。7月から営業を開始する山小屋も半数程度のため、緊急時の救助要員は例年よりも少ない。

財団の担当者は「心苦しいが、例年とは状況が違う。危ないと思ったら登山をやめる勇気を持ってほしい」と語った。

【檜枝岐】尾瀬シーズン到来！シャトルバス開始 入山規制が解除

福島民友新聞
みんゆうNet

ホーム	県内ニュース	全国・海外	スポーツ	社説	連載	観光	グルメ
-----	--------	-------	------	----	----	----	-----

福島民友ニュース

会津地区

【檜枝岐】尾瀬シーズン到来！シャトルバス開始 入山規制が解除

2020年07月02日

いいね! 0 シェア ツイート



御池駐車場を出発する尾瀬へのシャトルバス＝檜枝岐村

本県など4県にまたがる尾瀬国立公園の入山規制が1日、解除された。檜枝岐村は、新型コロナウイルス感染症の影響で閉鎖していた本県側から尾瀬に入る同村の御池駐車場を再開した。御池駐車場―沼山峠口間のシャトルバスの営業が始まり、待望の尾瀬シーズンが到来した。

村は「一村一集落の特殊な環境で感染者が発生した場合、村が崩壊する恐れがある」として、6月30日まで村内の宿泊施設などについても自粛要請を出していたが、1日からほぼ再開した。

御池駐車場では同日午前6時30分ごろ、始発のシャトルバスが沼山峠口へと走りだした。運営する会津乗合自動車は、同駐車場の受付でバス利用者の検温を実施しており、万全の体調での登山を呼び掛けている。